

平成23年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
						}	うち工事費	進捗率				
							目標年	うち用地費				
道路事業	1	一般国道477号 四日市湯の山道路	四日市市、 菰野町	③	【全体事業概要】 延長 9,000m 幅員 22.0(36.0)m 主要構造物 東名阪アンダー工 橋梁工 3橋	H9	39,000	67%	整備済延長 L=1,600m うち供用済延長 L=220m 主要構造物(整備済) 東名阪アンダー工 橋梁工 1橋	平成30年度の新名神高速道路の全線供用予定や現道の渋滞状況から当事業の必要性に変化はない。	【費用対便益分析】 B/C=1.5 【コスト縮減】 高角インター橋、吉沢橋において、耐候性鋼材を使用し、維持管理費の縮減に努めている。 【代替案の検討】 事業の進捗状況や周辺の地形・土地利用状況から代替案はない。	平成25年度の高角インターチェンジから県道四日市菰野大安線までの供用を目指す。また、平成30年度の名神高速道路の供用にあわせた全線供用を目指す。
							21,225	64%				
					【事業目的】 南北に走る高速交通を補完し、四日市市街地や東名阪自動車道と新名神高速道路菰野ICの連絡を強化、現道の渋滞の緩和を図る	}	17,775	70%				
					H30							

平成23年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							うち工事費	進捗率				
						目標年	うち用地費	進捗率				
道路事業	2	一般国道260号 南島バイパス	南伊勢町	③	【全体事業概要】 延長 3,470m 幅員 6.0(11.0)m 主要構造物 トンネル工 2本 【事業目的】 幅員狭小や線形不良の区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、緊急輸送道路としての機能の強化を図る。	H4	5,500	74%	整備済延長 L=1,780m うち供用済延長 L=1,100m 主要構造物(整備済) トンネル 1本	当該路線は、行政機能を分担する旧各町役場を結ぶ唯一の幹線道路であり、緊急輸送道路の指定を受けていることから、当該事業の必要性に変化はない。	【費用対便益分析】 B/C=1.6 【コスト削減】 トンネル照明は、最新の照明器具を導入し、建設コスト・維持コストの削減を図る。 【代替案の検討】 事業の進捗状況や周辺の地形・土地利用状況から、代替案ない。	平成29年度の全線供用に向け事業を推進する。
						}	4,610	70%				
						H29	890	95%				

平成23年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				
						}	うち工事費	進捗率				
							目標年	うち用地費				進捗率
街路事業	5	松阪公園大口線外1線	松阪市	②	【全体事業概要】 延長 L=820m 幅員 W=16.0m 鉄道立体交差化(アンダーパス)	H14	9,600	70%	仮設道路供用済み 鉄道立体交差部の施工中	当該路線は、沿線地域の生活に欠かせない道路であるとともに、緊急輸送道路の指定を受けていることなどから、当該事業の必要性に変化はない。	【費用対便益分析】 B/C=1.1 【コスト縮減】 最新の照明器具を導入し、建設コスト・維持コストの縮減を図る。 【代替案】 事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はない	平成26年度の全線供用に向け事業を推進する。
					}	5,501	50%					
					H26	4,099	97%					